



地元現代美術作家展

ニュー・ロケーション

—維持される気配—

2020 9/8 tue — 9/22 tue

藤樹の里文化芸術会館 展示室 1, 2

9:00-17:00 9/14 休館

入場無料

主催 | 高島市・高島市教育委員会 協力 | CAF.Nびわこ展実行委員会


beyond
2020

地元現代美術作家展

ニュー・ロケーション —維持される気配—

2020年9月8日[火] — 22日[火祝]
藤樹の里文化芸術会館 展示室1,2

9:00-17:00 9/14 休館
入場無料

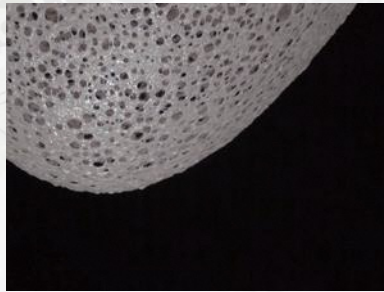
主催 | 高島市・高島市教育委員会 協力 | CAF.Nびっこ展実行委員会

この度、藤樹の里文化芸術会館では、滋賀県にゆかりのある作家のグループ展を開催します。

第2回となる今回は、「維持される気配」をテーマとし、3名の作家を紹介します。彼らの作品に共通するのは、私たちの普段の生活において無意識に行われている営みを感覚に沿って視覚化し、意識的に知覚し直そうとする試みです。平面や立体、インスタレーションやパフォーマンスなど、多岐にわたる方法で現された作品を、ぜひご覧ください。



犬飼 美也妃「Breathing Harmony」2010年



葛本 康彰「vision of gravity」2019年



岡本 里栄「とても暑い日の事だった」2019年 撮影：原田 悠輔

犬飼 美也妃

1972年 愛知県生まれ、守山市在住
呼吸をすることや女性であることなど、自身の身体に関する意識を、平面やパフォーマンス、インスタレーションなど様々な方法を用いて提示する。

岡本 里栄

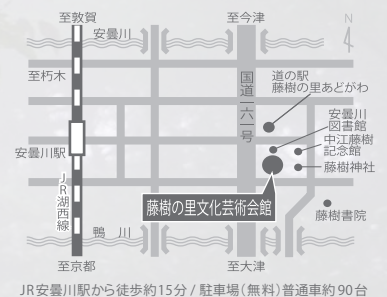
1988年 滋賀県生まれ、大津市在住
人間の存在をモチーフに、視覚では捉えきれない身体的な感覚を抽象的に捉え、コパ紙に水性アルキド樹脂絵具を用いた平面作品を制作している。

葛本 康彰

1988年 奈良県生まれ、大津市在住
匿名性を伴った“人間の作為”と、重力や光、天候などの“自然の現象”の双方から素材にアプローチをかけ、独自の手法で彫刻制作を行っている。

【お客様へのお願い】

- 新型コロナウイルス感染症予防対策として、感染者が発生した場合に備え、来館の際にお名前・ご連絡をお伺いいたします。また、「もしサポ滋賀」へのご登録を推奨しております。
- マスクのご着用、手指のアルコール消毒にご協力をお願いいたします。
- 37.5度以上の発熱や風邪の症状など、体調の優れない方は来場をご遠慮ください。
- 館内では他のお客様と充分な間隔を保ちご鑑賞ください。



JR安曇川駅から徒歩約15分 / 駐車場(無料)普通車約90台

お問い合わせは

藤樹の里文化芸術会館

〒520-1224

滋賀県高島市安曇川町上小川1106

TEL:0740-32-2461 / FAX:0740-32-2460

E-mail: bungei@city.takashima.lg.jp